

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 9月28日更新

事務事業名		合志市ふるさとサポーター事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	中村 誓丞
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	緒方 紀史子
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	政策企画班	(内線)	1244
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11554	法令根拠	成果優先度評価結果	①
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市外に在住する合志市出身者や合志市にゆかりのある者の本市まちづくりに参加する機会を拡充することを目的として、合志市ふるさとサポーターを設置する。 登録された方へは市からの情報提供を行なうとともに、まちづくりに関するサポーターとしての活動を行っていただく。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	広報誌・ホームページ等を利用して同制度を周知し、ふるさとサポーターとして登録を希望される方を募集する。 登録された方へは市からの情報提供を行なうとともに、まちづくりに関するサポーターとしての活動を行なっていただく。
【主な予算費目】	役務費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	サポーターとして登録を希望される方を募集し、登録を行なう。登録者への情報提供、まちづくりに関するサポーター活動を依頼する。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
サポーターとして登録を希望される方を募集し、登録を行なう。登録者への情報提供、まちづくりに関するサポーター活動を依頼する。		サポーターとして登録を希望される方を募集し、登録を行なう。登録者への情報提供、まちづくりに関するサポーター活動を依頼する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア サポーター登録制度周知回数	→ イ	【新規事業】市外に在住する合志市出身者や合志市にゆかりのある者の本市まちづくりに参加する機会を拡充することを目的として、合志市ふるさとサポーター事業を新たに実施することによる増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市外市外に在住する合志市出身者・関係者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア サポーター登録者数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	サポーター登録によりまちづくり活動を行ってもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ ア サポーターによるサポート件数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
サポーターによるサポート件数を成果指標とすることで、まちづくり活動を行なっていることを測ることができると思った		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	0	0	6	5	12	12	12
	イ								
② 対象指標	ア	人	0	0	20	6	20	40	70
	イ								
③ 成果指標	ア	件	0	0	10	0	30	50	100
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円					53	70	70
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	53	70	70
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	0	0	0	63	80	80	80
	(B)人件費計	千円	0	0	0	259	329	329	329
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	259	382	399	399

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	合志市ふるさとサポーター事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 年度途中からの制度スタートであり、また、制度内容が市外在住者を対象としているため制度周知がよく出来ていなかったため	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 更なる事業周知により目標達成を見込む	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 自治基本条例の理念に基づくまちづくりへの参画を広く呼びかけていくため、ホームページ等での周知を行ない、登録者増へつなげる。また、登録者への提供情報の充実を図っていく。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業では、人財マップ (バンク) 事業が考えられるが、対象・意図が違うので統廃合はできない。しかし、両事業とも連携をとっていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 経費は必要最小限の役務費のみであり削減余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限であり削減余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市を支援し、サポートをお願いする事業であり、受益者負担を求める事業ではない。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市外在住者が対象であるため、周知方法も限られ登録者も目標達成しなかった。今後、登録しやすい環境をつくり、まずは登録者を増やしたいと考える。本市の情報も広く提供していく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						